



北九州市議会／ハートフル北九州

森ひろあき

ニュースレター

No.75
2015年11月発行



ものづくりDNAの伝承。



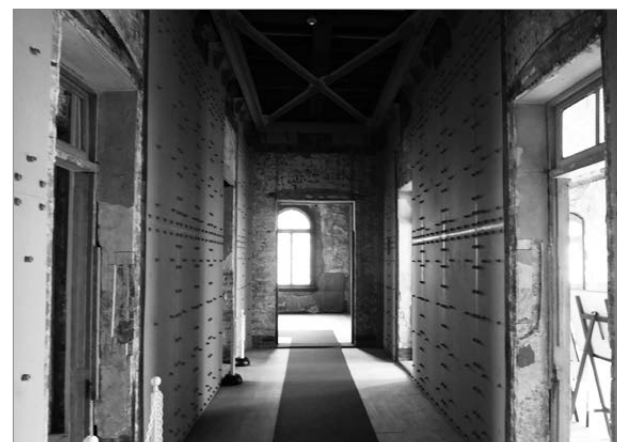
この秋は、北九州に脈々と流れるものづくりの源流と言って良い2つの大きな産業遺産を訪ねました。今年7月、官営八幡製鐵所旧本事務所などが世界遺産に登録されましたが、関連施設の構内見学ツアーを申し込み、幸運にも、一般には非公開の施設を見ることができました。

旧本事務所は、今から116年前、明治32年（1899年）、製鐵所に火入れされる2年前に建設された建物で、赤煉瓦組積造の2階建て、左右両端の長官室や技監室などをはじめ、製鐵所の中核が配置されていたそうです。現在は耐震補強のため、鉄板や鋼材を壁や屋根に入れている途中でしたが、鉄の国産化という国家プロジェクトに向かった当時を想像し、風圧を感じました。気分はプラタモリです。

もう1つ。今年8月にオープンしたばかりのTOTOミュージアムも見学。小倉北区中島にある本社と小倉第一工場の敷地に真っ白でユニークな建物が出現しています。館内には1917年に創立したTOTOの創業の精神やものづくりへの熱い志が感じることができます。紫川に面した2階部分には建築に関する小さなライブラリーも。近くなので何度も訪ねたいと思います。

これから寒さに向かいます。くれぐれも健康にご留意の上、ご活躍されますようお祈り申し上げます。

北九州市議会議員 森 ひろあき



森ひろあき事務所

〒802-0971 北九州市小倉南区守恒本町1-25-15-1001

TEL:093-964-6069 FAX:093-964-6071

E-mail jds06734@nifty.com

<http://morihiroaki.cocolog-nifty.com/blog/>

市議会ハートフル北九州

〒803-8501 北九州市小倉北区内1-1

北九州市議会ハートフル北九州

TEL:093-582-2658 FAX:093-582-4867

対
談

あけぼの愛育保育園園長

北野 久美氏 × 森ひろあき



森：今回は小倉南区沼緑町にある、あけぼの愛育保育園の北野久美園長に話を伺います。園の運営でこだわっていることを教えてください。

北野：園名をあけぼの愛育保育園としたのは法人名が愛育会だったからなのですが、この漢字から「愛しみ（いつくしみ）」、「育み（はぐくみ）」、そして「和み（なごみ）」という3つを園のスローガンにしました。育むというのは、親鳥が羽根で小鳥を包み込む、そういうなかで過ごしたい、おうちの少し大きいものという感じです。

北野：安全にもこだわりました。私が現場の保育士出身なので、細部に渡って子どもの安全という点だけでなく、保育士の動線も考えました。1年目は新しい職員も入り、建物も新しくなり、緊張感も高かったのですが、お蔭様で1年目、1件も病院に行くような怪我をしていません。これは私の誇りです。子どもと保育士の動線を考えて建てた建物だからということと、少人数で過ごすということが集中する時間を生んだからではないかと思います。

北野：もう1つは、少人数なので異年齢保育なのです。0歳・1歳・2歳は分けているのですが、3歳・4

歳・5歳の生活は同じクラスです。食事などの生活面は3歳・4歳・5歳を一緒にしていますので、育ち合いというか、3歳児は5歳児をモデルにするし、5歳児は家庭では1人っ子であってもお兄ちゃん、お姉ちゃんぶろうとしています。

森：日頃から努力と工夫を重ねて北九州市の保育の質を高めていただいている皆様の取り組みに、心から感謝申し上げます。ところで北野先生は、ご自身の園の運営のかたわら、北九州市保育士会の会長も長年されていらっしゃるようです。保育に携わる皆様の声を教えてください。

北野：本来、保育という営みは養護と教育を一体としており、その人の一生に関わる、慈しむ、育む大切な仕事なのですが、多くの方に正しく理解されていないのではないのでしょうか。遊びのなかで触れ合っている、これは人間関係の基になりますよとか、読んでいるのはつながりじゃないよ、言葉とか、イメージする力が育つんだよとか、保育のことを正しく分かってほしいと思い、さまざまな活動を続けています。こういう声が民のなかから上がれば、保育士の処遇改善にもつながるのではないのでしょうか。あと保育士の発掘とか、離職防止も。離職防止は折れ

かけた心のバンドエイドになれるようにとがんばっています。

森：先生は保育を通じてたくさんの子どもたちに関わっていますが、最後に保護者の皆様や子どもたちへのメッセージをお願いします。

北野：保護者さんに向けては、私たちは本当に子育て応援団なんです！ということですね。親御さんたちにとって代わることはできませんが、昼間の子どもたちの様子を一番見ているのは私たちですから、保護者の皆様と共通の想いで子育てをしたいと思います。子どもたちには、あなたたちのことを愛しています！と言いたいです。その愛情を私たちも持っているし、あなたたち自身の自己肯定感、自分を愛してほしいので、その愛情のシャワーはしっかりかけていきたいと思います。もっとも、子どもたちから先生大好きとか言われると私たちへのお返しの方が多いのですが（笑）

森：北九州市は「子育て日本一を実感できるまちづくり」を目指しています。市役所と連携を深めながら、子どもたちを育む仕組みや雰囲気を作りたいと思います。本日は本当にありがとうございました。

あけぼの愛育保育園園長 ^{きた の} **北野** ^{く み} **久美**
【略歴】

あけぼの保育園に入職後、主任・園長を経て、2012年よりあけぼの愛育保育園を開園



本会議だより

～9月議会(9/3～10/6)～

会派ハートフル北九州を 代表し決算議案の質疑。

9月議会の本会議で私は1時間、16項目・約6千文字、前年度決算審議のため、財政や地域経済、福祉、教育、にぎわいなど、さまざまな角度から質問しました。

北橋市長は「域経済対策について新たな企業立地が33件あり、新成長戦略に取り組んだ結果、1年間で4,579名の雇用を生み出した」「景

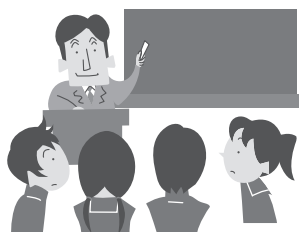
況感としては、明るい兆しがあるものの、全体的には行き渡ってない」

「今後は新成長戦略に加えて、まち・ひと・しごと創生総合戦略と策定して経済対策を行う」など前向きな答弁がありました。

また、昨年度の行革による収支改善は、当初予算の約43億円に対して決算実績は約45億円となり、そ



こで捻出した貴重な一般財源を経済対策や子育て・教育などの事業に重点配分したり、当初予算では99億円を計上していた財源調整用基金を決算では取崩しをゼロにすることができたり、2年連続で収支を均衡させたことなど、市長の財政運営を高く評価すると会派を代表して私からも意見を述べました。



来年から 夏休みは短縮？

本会議での質疑の翌朝の朝刊（北九州版）では「エアコンあれば夏休み短縮？」（朝日新聞）や「個室が基本、婦人科も」（毎日新聞）などで取り上げられました。

来夏には市内全中学校の全ての普通教室にエアコンが設置されるので子どもたちの学力向上の方策の1つとして提案。

垣迫教育長は「エアコンが設置されて、夏休みの短縮を行っている自治体も出てきている」「本市においても夏季休業日のあり方について検討を始めたい」などの答弁。

エアコンあれば夏休み短縮？

北九州市教委の垣迫裕俊教育長は10日、市立小中学校の全教室にエアコンを設置する計画に伴い、夏休み期間について検討を始める方針を市議会本会議で明らかにした。「授業時間確保のため、夏休みを短縮している自治体がある」との森浩明議員（ハートフル北九州）の質問に答えた。

**全市立小中で設置計画
北九州市教育長
「あり方を検討」**

垣迫教育長は「学校や保護者、地域の意見を幅広く聴く場を設け、メリット、デメリットを整理し、夏休み期間のあり方を検討したい」と述べた。

市教委は2016年6月までに全市立中学校にエアコンを設置。市立小学校には同年から2、3年で全校に設置する計画だという。

▲「朝日新聞」(2015年9月11日朝刊)

北九州市立総合療育センター再整備

個室が基本、婦人科も 八幡西区には西部分所

北九州市は10日の市議会で、老朽化に伴い再整備する市立総合療育センター（小倉南区春ヶ丘）と、新設する同センター西部分所（八幡西区若葉）の基本計画を明らかにした。

再整備される新しい総合療育センターは、現センター（小倉南区春ヶ丘）近くに移動・建て替えられ、2018年度中の開所予定。鉄筋コンクリート4階建てで、延べ床面積は

現センターの1・4倍にあたる約1万8400平方メートル。病床数も現在の100床から165床に増床し、現行の5床に増床し、現行の多人数部屋ではなく、個室を基本とする。診療科は、今年開設された児童精神科など現行の12科に加え、婦人科が新設される予定。

市西部地区の利用者の負担軽減のために新設される西部分所は、旧西部障害者福祉会館を改修して、16年4月に入居する。

【高夢菜穂子】

▲毎日新聞(2015年9月11日)

小倉南区春ヶ丘にある障がい児・者の医療や療育を担う総合療育センターの建替えが進んでいます。その充実・強化の内容を尋ねました。

北橋市長からは「増加する発達障がい等に対応するための児童精神科や女性特有の疾病に対応するための婦人科を新設する」「病床を100床から165床に増やす」「小規模単位で介護を行うユニットケア方式を導入する」など、新しい総合療育センターについて答弁がありました。

総合療育センターの整備

森ひろあき 掲示板

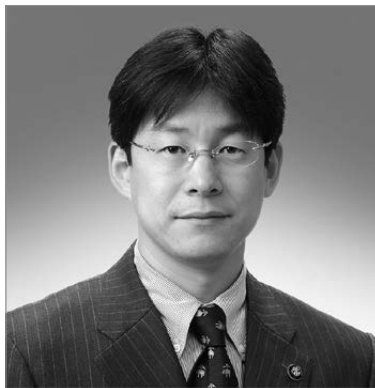


朝の街頭活動(モノレール・JR)

秋晴れの気持ち良い天気が続くなか、モノレールやJRの駅前をお借りして朝の街頭活動を行っています。継続は力なりということもあり、どの駅でも応援いただいている皆様も多く、たくさんの激励をいただきました。本当にありがとうございます。朝から、元気もりもり！活動中です＼(^o^)/

敬老の日、ご長寿をお祝い

9月21日の敬老の日、地元町内会でも敬老行事を開催。私も町内会長として、皆様に日頃の感謝とご長寿をお祝い申し上げました。町内単位なので規模は小さいのですが、馴染みの方々と一緒に食事とおしゃべりを楽しむことができ、最後のくじ引きまであっという間の2時間でした。皆様、ご長寿おめでとうございます。



森ひろあき政経セミナーのご案内

昨年まで茨城県高萩市長を務め、現在は東北福祉大学特任教授としてご活躍中の草間吉夫氏をお迎えし、「子どもの自立」をテーマに勉強したいと思います。

講師 草間 吉夫 (くさま よしお) 氏

テーマ 「ひとりぼっちの私が市長になった」

日時 12月5日(土) 17:00～18:30

場所 北九州市立商工貿易会館2F 多目的ホール
北九州市小倉北区古船場町1-35

会費 10,000円
(政治資金規正法第8条の2に規定するパーティです)

2015年
7月～9月の



- 7/2 小倉南区議員協議会(主要施策の説明)
- 7/4 ムーブ開所20周年記念式典・講演会
- 7/5 第45回北九州市消防ポンプ操法大会
- 7/5 北九州市テニス連盟創立50周年記念祝賀会
- 7/14～16 市議会／保健病院委員会(行政視察)
- 7/19 守恒八旗八幡神社夏祭り
- 7/27～29 キャプテン@九州(福島研修)
- 7/31 市議会／保健病院委員会(陳情審査・所管事務調査)
- 8/1・2 わっしょい百万夏祭り
- 8/7 公共施設マネジメント・シンポジウム
- 8/10 地域創生に関するタウンミーティング
- 8/17 市議会／教育水道委員会(市内視察)

- 8/19・20 市議会／ハートフル北九州(個人視察)
- 8/22 まつりみなみ2015
- 8/23 市議会／ギラヴァンツ北九州ホームゲーム応援
- 8/26 ブルーシャトーBBQ
- 8/28～9/1 市議会／各局との会派別勉強会
- 9/3 市議会／本会議(開会・提案説明)
- 9/10～15 市議会／本会議(質疑・一般質問)
- 9/12 次世代システム研究会第90回研究会
- 9/13 第31回広徳中学校体育大会
- 9/16～30 市議会／決算特別委員会(質疑・採決)
- 9/19 官営八幡製鐵所関連施設構内見学バスツアー
- 9/21 守恒本町敬老行事
- 9/27 紫川ふれあいクリーン作戦

(その他、市政相談、調査などを日常的に行っています)



森浩明(もりひろあき)
プロフィール

■生年月日／昭和44年2月6日小倉南区山手生まれ(46歳) ■学校歴／企救丘小・志徳中・小倉高校・早稲田大学を卒業
■職歴／松下政経塾13期生

■議員歴／北九州市議会議員に初当選(最年少27歳)／現在5期19年目／政党は無所属／会派はハートフル北九州／保健病院委員・会派幹事長など務める

■地域活動歴／守恒本町町内会長／小倉ロータリークラブ幹事／北九州JCシニアクラブ会員 ■家族／妻と2人暮らし+猫
■好きな食べ物／玉子かけご飯